

# 労働局長が運輸支局長と共に荷主を交えて ベストプラクティス企業と意見交換を行いました

岩手労働局（局長 栗村勝行）では、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、地域において長時間労働の削減や働き方改革の実現に向けて積極的に取り組んでいる企業を「ベストプラクティス企業」とし、11月21日、岩手運輸支局（支局長 藤田一彦）と合同で奥州市の「白金運輸株式会社」を訪問、事業場で行っている働き方改革に関する取組内容について説明を受けるとともに、荷主を交えて意見交換を行いました。

岩手労働局では、今後とも過重労働解消を始めとする「働き方改革」の取組を進めていきます。

## 企業（法人）の概要

法人名 白金運輸株式会社

所在地 本社・本社営業所 奥州市江刺稲瀬字沼館69

事業内容 貨物自動車運送事業他

従業員数 約270名

トラック車両台数 約140台

経営理念 「あなたよし わたしよし みんなよし」

## 働き方改革に向けた主な取組内容

### リレー中継輸送

岩手県と静岡県の間を往復トラック輸送を運転手交代方式による中継輸送とした。

今までは1人の運転手が1台のトラックで3日運行としていたが、3人の運転手で2台のトラックを使用することで、運転手の日帰り運行が可能となった。

### モーダルミックス

秋田県から神奈川県への運行について、経路の一部に鉄道輸送を取り入れた。

今まではトラックで直接横浜港近郊まで運送していたが、盛岡貨物ターミナルから東京まで鉄道を使用することで、トラックの走行距離が短縮された。



令和5年度ベストプラクティス企業  
白金運輸株式会社



# 1 ご挨拶をいただきました



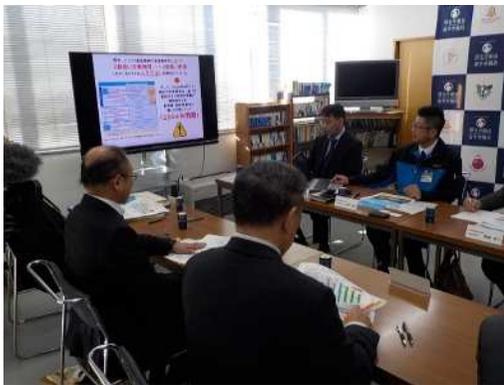
挨拶する粟村労働局長

労働局長：労働局と運輸支局が一体となり、岩手県の今後のトラック業界の労働条件の確保と労働時間の短縮を目指しながら、過重労働等をなくすようしっかり取組を行っていきたい。

運輸支局長：トラック業界の課題は人手不足だが、働き方改革も重要であり、それを解決するためにも効率化が非常に重要だと思っている。今日は白金運輸がどのように効率的に改革を行って現在に至っているのかお話を伺いたい。

代表取締役社長：本日出席者の皆さんと一緒に発言させていただき、我々業界で働くみなさんが思っていることが各荷主様に話題が届くよう、そして、結果的に我が国の物流に貢献できるようにしたいと思う。

# 2 企業の取組について説明を受けました



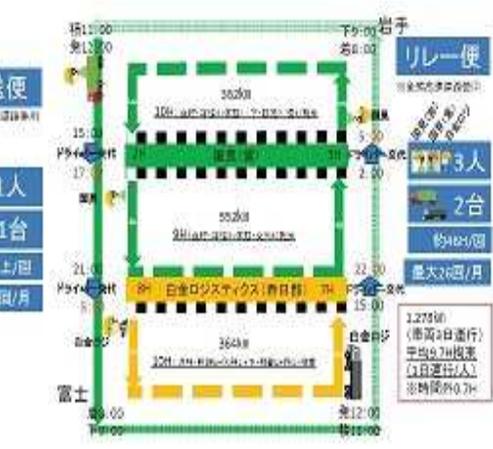
会社の取組について説明する  
海鋒代表取締役社長

企業の取組の説明に先立ち、トラック運送事業に関わる背景について説明がありました。2024年問題にも触れ、持続可能な物流現場づくりのためには、荷主・運送事業者・消費者を含む社会全体で「運び方改革」を推進しなければならないと話がありました。企業の取組については、主に「リレー中継輸送」と「モーダルミックス」について説明がありました。

「リレー中継輸送」の説明にかかる資料（一部抜粋）



私たちのリレー便を「SIROGANEリレー便」と命名し、これからも挑戦を続けていきます。  
そして...  
新しい時代の働き方に適応した運行、さらには鉄道・船舶をベストに選択し「ベストモーダルミックス」を提案していきます。  
「運び方改革」の実現のために荷主企業様をはじめ、社会全体にご理解をいただけるよう、更なる発信に努力していきます！



### 3 意見交換を行いました

海鋒社長から、震災時にドライバー不足が加速し、このままでは長距離運行ができなくなるという未来を予想したことが取組のスタートだったこと、また、取引先企業である丸富流通株式会社業務部横瀬副部長から、リレー中継輸送は将来的に必ず必要になる配送方法であるとの認識を持ちスタートさせたことについて話がありました。栗村局長は自身の経験にも触れ、20年前には長距離運行の改善が実現できなかったが、白金運輸の取組については非常に良い取組であり、ぜひ全国に広めていくべきであること、藤田支局長からは、リレー中継輸送、モーダルミックスについてはいずれも素晴らしい取組であること、今後はトレーラー輸送にかかるインフラ整備も必要になると思われるとの話がありました。

最後に、海鋒社長から同業者に向けて、「働き方改革を進めるに当たっては、運賃を引き上げていただく必要もあると思う。業界内の風通しを良くしてみんなで声を上げ、荷主企業や消費者にも理解していただけるようにすることが必要だ。歩調を合わせ、待遇改善に取り組み、魅力的な業界にしていきたい。」とのメッセージが送られました。



意見交換をしている様子  
活発な意見交換が行われました



資料を示しながら発言  
をする横瀬副部長

### 4 集合写真を撮影しました

最後に行政側、企業側トップの4人および参加者全員で集合写真を撮影しました。

また、意見交換終了後は栗村局長がインタビューを受けました。



左から藤田支局長、横瀬副部長、海鋒社長、栗村局長



参加者全員で集合写真を撮影しました



マスコミのインタビューを受ける栗村局長